

事業名 いわむろ「ふるさと講座」

趣 旨 地域に脈々と残るそのかけがえのない財産を再認識し、継承していく。
 実施主体 新潟市岩室地区公民館
 参加対象 新潟市民
 参加者数 延べ98名
 回数 4回 日数 4日 時間 16時間
 場所 西蒲区間瀬、西蒲区岩室～金池、中央区～燕市吉田、西蒲区福井佐藤邸（巻）
 内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月14日（土） 10:00～13:00	漁師が船上で作った鍋（銅壺鍋）を再現	本間 源作
	内容・方法	講師が管理していた鍋（木製）と間瀬公民館に寄付された鍋の2個（1個7人前位）しか現存していなかった。参加者が多いので、大鍋も用意し公民館協力員と共に作成した。講師が手配してくれたアンコウ3匹を目の前でさばきながら、昔の使われ方、銅壺鍋の由来を紹介いただき、参加者全員で味わった。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	9月29日（土） 9:00～14:00	岩室の名水で抹茶と名水周辺の植物を知る	横内 忠紀
内容・方法	岩室温泉地内から金池の林道周辺には6箇所の清水がある。その名水を確認し、道中の草花について説明を受けながら歩いて行った。弥彦山系では、間瀬とここにしかないカエデと大変貴重であるアケボノソウを発見するなど、講師も驚いていた。公園で昼食をとったあと、この名水で協力員が点ててくれた抹茶と水ようかんを県有形文化財に指定されている浄専寺の庭園を見ながら頂いた。		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	10月11日（土） 9:30～13:00	間瀬大工の彫刻の冴えと泉性寺と阿部一族の流転を訪ねて	山田豊昭・阿部 實 赤川 豊
内容・方法	「間瀬大工匠の技」が今でも近郷に残っている内野の「清徳寺」と燕市「吉田神社」を訪ね、その遺構や歴史に触れる学習となった。また、西堀にある「泉性寺」がかつて岩室の夏井地区にあったということから、その歴史を探り先人の足跡を追ってみた。		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	11月10日（土） 16:00～18:00	囲炉裏のあった暮らしと郷土食（のっぺ・けんさ焼）	内藤 逸子
内容・方法	旧庄屋の「佐藤家」で赤々と燃える囲炉裏を囲んで郷土食をつくる。「けんさ焼」は、かまどから炊いたご飯を参加者自らにぎり、講師が容易した「しょうが味噌」を付け、その昔どこの家にもあった囲炉裏で焼いた。「のっぺ」は講師及び協力員、ボランティアの皆さんで朝早くから仕込んだものを用意。正月気分をあげわっていただいた。		

成果 ・ 初めての企画で当初はどうなるかと思われたが、各参加者25名に対し全コース断わらなければならず、キャンセル待ちが出るほどであった。来年度も是非企画してもらいたいと要望があったので、身近な郷土を再認識していただけたと思われる。

課題 ・ どうしても会場の関係で移動しなければならず、その手段を再考しないといけない。また、交通事情や現場での作業内容により時間が読めずコンマ終了予定が変わることがあった。その場合の対処方法も一考したほうがよいと感じた。

問合せ先 岩室地区公民館（担当：池田）TEL：0256-72-8844

FAX：0256-82-4484

事業名 **生涯学習人材バンク「まちの先生」登録者研修会**

趣 旨 「まちの先生」登録者の活力増進と人材バンク制度の充実を図るとともに、研修成果を生かし、「まちの先生企画講座（自主講座）」の開設に繋げてもらうため。

実施主体 長岡市市民協働部生涯学習文化課

参加対象 「まちの先生」登録者及び生涯学習コーディネーター

参加者数 48人

日 数 1日 時 間 5時間45分

場 所 長岡市立劇場3階大研修室

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11/23(金・祝) 9:15~10:00	まちの先生企画講座の概要、生涯学習相談室の紹介	長岡市生涯学習コーディネーターの会 会長 小林秀夫氏
	内容・方法	第二次長岡市生涯学習推進計画・後期計画に基づき、市民主体の生涯学習の推進を図るため、人材バンク制度の開設の目的、生涯学習相談室とまちの先生の関係性、まちの先生企画講座の概要などについて、生涯学習相談室においてまちの先生の活動を支援している生涯学習コーディネーター（市民ボランティア）の立場で、スクリーンを活用しながら説明する。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	11/23(金・祝) 10:00~12:00 13:00~15:00	①自分の能力を生かしたプログラムの作り方 ②満足度の高い講座運営の心得と効果的な広報のコツ	編集工房わらく 主宰 和田一良氏
内容・方法	満足度の高い講座運営を図るためには、教室型による一方通行の講義方式から脱却し、学習者主体の運営方式への転換を図ると同時に、学習目的に沿いながら、学習素材の魅力や楽しさを伝えるためのプログラムの展開・演出が求められる。 これらを念頭に置きながら、学習テーマの発掘から、学習目的の共有、学習目的を達成するためのプログラムとシナリオづくりまで、グループ毎に演習・発表してもらう。		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	11/23(金・祝) 15:00~16:00	まちの先生の活動や制度に関する意見交換会（茶話会）	生涯学習コーディネーター
内容・方法	自己の活動紹介や研修の振り返り、人材バンクのPR方策、プログラムの共同開発の機会づくりの必要性、市民ニーズの把握方法などをテーマにした茶話会を通じて、制度の充実策の検討とまちの先生相互の情報交換を図る。		

成 果 ・ 初めての試みであったが、人材バンク制度の理解を深めることとまちの先生の考えを聞くことができたことは、今後の事業推進上、大きな成果であった。また、話し合いや情報交換の場を多く用意したことも好評の要因であり、プログラムの共同開発に関する関心の高さも確認できた。

課 題 ・ 参加者アンケート集計の結果、分野ごとの研修会の開催、情報交換の場や自信を付けるための成果発表の場の創出、今回同様のスキルアップ研修の継続などの要望も多く、これらの要望に効率良く応えるための方策の検討と拡充を図ることが課題である。

問合せ先 長岡市生涯学習文化課企画推進係（TEL0258-32-5110）

事業名 **科博コラボ・ミュージアム in 糸魚川**
「糸魚川は大地のワンダーランド」

実施主体 糸魚川市博物館・国立科学博物館

参加対象 一般市民

参加者数 延べ 87人 (大人74人 子ども13人)

回数 2回 日数 2日 時間 6時間

場所 フォッサマグナミュージアム, 青海川の硬玉産地 (青海川橋立)

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月10日 (土) 13:30~16:00	国立科学博物館と糸魚川 新鉱物と糸魚川 ジオパーク糸魚川 恐竜の話	松原聰 (国立科学博物館 地学研究部長) 真鍋真 (同研究主幹) 宮島 宏 (糸魚川市博物 館館長補佐)
	内容・ 方法	<input type="checkbox"/> 国立科学博物館と糸魚川のこれまでの関わりの紹介 (パソコン, パワーポイント) <input type="checkbox"/> 糸魚川から発見された新鉱物の紹介 (パソコン, パワーポイント) <input type="checkbox"/> 糸魚川にある多数の貴重な地質遺産の紹介 (パソコン, キーノート) <input type="checkbox"/> さまざまな恐竜の最新の話 (パソコン, パワーポイント)	
2	11月11日 (日) 8:30~12:00	青海川の硬玉産地の巨大ひすい輝石岩の観察 青海川の河床の重鉱物, 特に砂金の観察	松原聰 (国立科学博物館 地学研究部長) 宮島 宏 (糸魚川市博物 館館長補佐)
	内容・ 方法	<input type="checkbox"/> 現地でひすい (ひすい輝石岩) の地質学的な意義の説明 (口頭) <input type="checkbox"/> 青海川のひすい峡の発見の歴史の紹介 (口頭) <input type="checkbox"/> 川砂に含まれる重鉱物の観察 (実演)	

成果 ・ 国立科学博物館から記載鉱物学の権威である松原聰博士と、恐竜の著名な研究者である真鍋真博士を招き、最新の情報を平易に映像を多数用いて解説していただいた。恐竜がテーマの一つになっていたことから、いつもよりも小学生の参加が多く、活発な質問があった。

課題 ・ 鉱物や恐竜の著名な講師による講演会であったため、小学生だけでなく中高校生の参加があることを期待していたが、残念ながら参加は皆無であった。当市における中高校生の自然科学への興味がきわめて希薄であることの現れであり、学力低下とも関連するものであろう。学校とも連携し子どもたちの自然科学への興味増進を図る必要がある。

問合せ先 フォッサマグナミュージアム (担当 宮島 宏)

TEL 025-553-1880

事業名 「謙信KIDSスクールプロジェクト ～海と山と大地の楽校～」

趣 旨 14市町村が合併し、多様となった自然、歴史、文化など、豊富な地域資源を活用し、様々な体験活動の入口に子どもたちの好奇心を刺激し、知的探求活動を進め、心豊かでたくましい子どもたちを育成する。

実施主体 上越市教育委員会生涯学習推進課及び各区教育・文化グループ等

参加対象 小・中・高校生（各楽校により対象年齢は異なる）

参加者数 実411名（のべ約2,100名） **回数・日数** 各楽校4～15回（のべ136回）

時 間 1回あたり3時間から宿泊（1泊2日）まで **場 所** 市内全域

内 容

○各19楽校（21のコース）の内容等は次のとおり

（講師は地元の方、専門家を中心に依頼。期日は19.4月～20.3月）

- ・郷の楽校(大潟区、牧区、柿崎区、頸城区)
…海の遊び、農作業体験、里山ハイキング、郷土料理実習、昔の風習体験等
- ・森の楽校(板倉区、牧区)…森のハイキング、秘密基地づくり、自然物の工作等
- ・メロディの楽校(大潟区、頸城区)…地元音楽祭での歌の発表、様々な楽器の演奏等
- ・そばの楽校(合併前上越市)…そばの学習、そばの種まき、収穫、脱穀、そば打ち等
- ・美の楽校(大島区)…楽校旗づくり、ストーンペインティング、パンづくり等
- ・木の楽校(合併前上越市)…木の標本・表札・ミニラック・鳥の巣箱づくり等
- ・レルヒの楽校(合併前上越市)…スキーの歴史学習、一本杖スキー体験等
- ・音の楽校(浦川原区)…草笛体験(雅楽の由来)、雅楽の楽器の練習、合奏
- ・海の楽校(名立区、柿崎区、大潟区)…船内探検、磯釣り、刺し網体験、浜汁づくり、源流体験、
鮭のつかみどり等
- ・緑の楽校(三和区)…珍しい植物や水生生物の観察、雑魚引き体験等
- ・昆の楽校(合併前上越市)…上杉謙信公と春日山城の歴史学習、義の塩づくり、
川中島の見学等
- ・魚の楽校(合併前上越市)…水族館探検、魚の飼育方法学習、磯の生物の観察・採集等
- ・発酵の楽校(頸城区、吉川区)…発酵についての学習、味噌の仕込み体験、パンづくり
- ・縄文の楽校(中郷区)…まが玉づくり、石器づくり、土器づくり等
- ・星の楽校(清里区)…季節による星座観察、望遠鏡づくり等
- ・雪の楽校(合併前上越市)…雪室見学、雪冷房装置づくり、雪国の風習の学習等
- ・空の楽校(吉川区)…パラグライダー体験、グライダーづくり、気象の学習等
- ・古径の楽校(合併前上越市)…小林古径の画業の学習、古径作品の模写、日本画制作等
- ・巧の楽校(合併前上越市)…様々な材料をテーマにした工作、発明品づくり

成 果

- ・市の中心から楽校の実施場所まで送迎バスを用意し、参加しやすくてきた。
- ・自分の住んでいる区ばかりでなく、他の区で実施している楽校への参加もみられるなど、子どもたちの活動が市内全域に広がりを見せている。
- ・地元の方をはじめ、大学（大学生含む）、高等学校、民間企業、NPO法人、財団法人等に講師あるいはボランティアスタッフとして協力いただいている。

課 題

- ・中・高校生の参加は、依然として少ない状況である。楽校の中で小学生と中・高校生が同じメニューで活動することは難しいことから、来年度はボランティアスタッフとして参加してもらうことも検討したい。
- ・NPO等と連携し、指導等の協力のほか、中・上級レベルの活動の受け皿としての体制整備をお願いしていく。
- ・子どもたちが体験活動としての受け皿を増やすべきと考えているが、限りある職員体制であり、調整機能と実施主体のすみ分けが必要。

問合せ先 上越市教育委員会生涯学習推進課

事業名 公民館講座「佐渡の郷土料理教室」

趣 旨 佐渡の各地域や家庭に伝承されている郷土料理の良さを見直し、旬の食材を使った伝統的なふるさと料理の作り方を楽しく学ぶ。

実施主体 両津地区公民館

参加対象 佐渡市内在住者 等

参加者数 延べ 125名

回 数 11回 日 数 11日 時 間 37時間

場 所 両津地区公民館 調理室

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月8日(金) 9:30～11:30	「開講式」	藤井 和子
	内容・方法	○ 内容：講師や受講生が自己紹介した後、日程や料理の献立など年間の学習計画・役員・毎回の当番・班分けなどを決め、材料費の支払いなどの受講にあたってのルールなどについて話し合った。 ○ 参加人数：10名	
回	期日・時間	テーマ	講師等
2	6月15日(金)9:30～13:00	「佐渡の郷土料理」	藤井 和子
	内容・方法	○ 献立：いかめし・いかがゆ・いかと大根のしょうから煮・干しわらびの白和え・にんじんの白和え ○ 参加人数：11名	
回	期日・時間	テーマ	講師等
3	6月29日(金)9:30～13:00	「佐渡の郷土料理」	藤井 和子
	内容・方法	○ 献立：炊きおこわ・いか汁 ○ 参加人数：12名	
回	期日・時間	テーマ	講師等
4	7月13日(金)9:30～13:00	「佐渡の郷土料理」	藤井 和子
	内容・方法	○ 献立：じゃが芋の煮ころがし・ぼたもち・あずき汁 ○ 参加人数：11名	
回	期日・時間	テーマ	講師等
5	9月7日(金)9:30～13:00	「佐渡の郷土料理」	藤井 和子
	内容・方法	○ 献立：ごまころがし・茶がゆ・あえませ・いかの子だんご・いごねり ○ 参加人数：12名	
回	期日・時間	テーマ	講師等
6	9月21日(金)9:30～13:00	「佐渡の郷土料理」	藤井 和子
	内容・方法	○ 献立：おおびら・巻き寿司 ○ 参加人数：10名	

回	期日・時間	テーマ	講師等
7	10月5日(金)9:30～13:00	「佐渡の郷土料理」	藤井 和子
	内容・方法	○ 献立：せんぞうぼう・じゃが芋のみたらし・こくしょう ○ 参加人数：14名	
回	期日・時間	テーマ	講師等
8	10月19日(金)9:30～13:00	「佐渡の郷土料理」	藤井 和子
	内容・方法	○ 献立：菜飯・とり汁・芋だこ・ワカメ豆腐 ○ 参加人数：9名	
回	期日・時間	テーマ	講師等
9	11月9日(金)9:30～13:00	「佐渡の郷土料理」	藤井 和子
	内容・方法	○ 献立：黒豆ごはん・切り干し大根のごま酢あえ・やせごま・おこし型 ○ 参加人数：11名	
回	期日・時間	テーマ	講師等
10	11月30日(金)9:30～13:00	「佐渡の郷土料理」	藤井 和子
	内容・方法	○ 献立：そばどじょう・びくにんなます・きびだんごのお汁粉・うの花いか ○ 参加人数：13名	
回	期日・時間	テーマ	講師等
11	12月7日(金)9:30～13:00	「佐渡の郷土料理（おせち料理）」	藤井 和子
	内容・方法	○ 献立：赤飯・煮しめ・長いもきんとん・ようの子入り紅白なます・田作り ・さけのみそネーズ焼・和風かに玉・酢ごぼう ○ 参加人数：12名	

成 果

- ・ 行事食や冠婚葬祭の際の一品料理、保存食など、料理の作り方を学ぶだけでなく、言い伝えや風習、食材の栄養価などについても学ぶことができ、大変勉強になった。
- ・ 受講生は、佐渡市内の各地域から参加しており、同じ料理でも地域によって具材や味付けが違うなど、受講生同士でも自分の地域での料理について紹介しあっていた。
- ・ 佐渡に嫁いできた人、夫の転勤などで佐渡に住んでいる人などもいて、初めて食べる佐渡の郷土料理もあり、豊富な食材や旬の味など、佐渡の良さを知ってもらえた。
- ・ 作った料理は必ずみんなで試食しあい、会話もはずみ、楽しい仲間づくりの場となった。

課 題

- ・ 毎回献立を考えるのが大変で、講師が住んでいる地域の献立に偏りがちであった。
- ・ 天候等により食材が用意できない場合があり、冷凍ものなどを採り何とか調達したこともあった。
- ・ 講座の時間内だけでは作れないような下ごしらえの必要な料理もあり、講師や一部の受講生に負担をかけることもあった。

問 合 せ 先 佐渡市教育委員会 生涯学習課 社会教育係
TEL：0259-27-4181

事業名 うおぬま市民大学（まなび講座）

趣 旨 魚沼市民が余暇を活用して生涯学習に取り組むことができるように学習機会を提供することにより、学ぶ楽しさを味わいながら豊かな生活を送ることができるようにする。

実施主体 魚沼市教育委員会生涯学習課

参加対象 市民

参加者数 延 1, 147名（一部未了講座あり）

回数 42回 日数 42日 時間 84時間

場所 小出郷福祉センター 堀之内公民館 他市内公共施設 市内野外フィールド

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月27日～ 8:30～	「自然探求講座」 植物探索、野鳥探索、自然散策のコース別自然学習	うおぬまガイドクラブ 内田 弘義 他
	内容・方法	山野草探索講座4回・山菜探索講座1回・きのこ探索講座1回・野鳥観察会4回・浅草岳ハイキング1回・尾瀬ハイキング1回・銀の道ハイキング1回 全13回予定 市内の野外フィールドで、講師による実践的な講習を受ける。延315名	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	4月26日～ 19:00～	「子ども育み講座」 子育てや親子のコミュニケーションを専門的に学ぶ	分野別専門家 本田 建一 他
内容・方法	子育て世代を中心とし、子育てに関する幅広い知識を身につける。専門分野の講師による講義とワークショップを全9回実施。 魚沼市・川口町PTA連絡協議会、子育て関係団体と連携。延364名		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	5月26日～ 10:00～12:00	「うおぬま歴史講座」 魚沼市全体の歴史を学ぶ	文化財保護審議会委員 山之内 喜七 他
内容・方法	魚沼の歴史を年代別に学び、地域の歴史や文化についての知識を身につける。魚沼市文化財保護審議会委員など専門家による講義を全6回実施。延220名		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	5月24日～ 19:00～21:00	「うおぬま魅力発見講座」 地域資源を活かした、地域振興の知識や情報を学ぶ	分野別専門家 伊藤 親臣 他
内容・方法	魚沼の地域資源を活用したまちづくりを進めるための情報や知識を身につける。専門分野の講師による講義とワークショップを全4回実施。 うおぬま芸術文化創造プロジェクト連携。延98名		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	5月30日～ 19:30～21:00	「スポーツ指導者養成」講座 スポーツ指導に必要な知識や技術を体系的に学ぶ	分野別専門家 上村 伯人 他
内容・方法	実技と講義でスポーツ指導に必要な知識や技術を体系的専門的に学び、青少年団体などの指導現場に活かす。各分野の専門家による実技講習など全10回予定。 主催魚沼市体育協会 共催eスポーツクラブ、魚沼市教育委員会。延150名		

成果 ・ 本年度より比較的少人数で専門的な分野を学ぶ「まなび講座」として実施、受講生も目的を持って参加していることから、内容の濃い講座となった。各講座内容により、時間や回数など手法は様々で、1回あたりの参加者数にも多寡があるが、生涯学習につなげるための入り口としての目的は一応達している。

課題 ・ 専門的な分野であり、受講者が期待した内容とかみ合わない例があった。また、各種団体と連携し事業を行ってきたが、参加者が極端に少ない場合がある。このため、市民ニーズを的確に捉え、市の施策として推し進める部分とどのように調和させるかが今後の課題となる。さらに、講座受講生が指導者に移行できるよう、より専門的な知識や技能を身につける機会をどのように提供していくか検討しなければならない。

問合せ先 魚沼市教育委員会生涯学習課社会教育係 TEL025-794-6073

事業名 **田上町地域安全マップづくり講習会**
 ～ キーワードは「入りやすく、見えにくい場所」を知る ～

趣 旨 犯罪が起りやすい場所（危険）とはどのようなところなのか、どのような場所が安全なのかを“まち歩きによる「安全マップ」の作製”を通じて認識し、子どもたちを巡る環境をどのように確立していけばいいのかを学ぶ。

実施主体 田上町・田上町教育委員会

参加対象 地域の安心安全隊のみなさん、学校関係者、PTA 等

参加者数 30名（スタッフ含む）

回数 1回 日数 1日 時間 6時間

場所 田上町公民館 他

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月27日（火） 10：00～16：00	「田上町地域安全マップづくり講習会」 ～キーワードは「入りやすく見えにくい場所」を知る～	新潟県警察本部 犯罪抑止総合対策室 同係長 堀 廣
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域安全マップづくり講習会～キーワードは『入りやすく、見えにくい場所を知る』～」と題し、犯罪社会学で著名な立正大学小宮信夫教授のDVDを見ながら、犯罪はどのような場所で起りやすいのか、またなぜ『安全マップ』を作製することが必要であり、有効であるのか講義を行った。 ○午後は実際に講義いただいたことを実践するため、4つのグループ（5～6人で編成）に分かれて1時間程度の『まち歩き』、その後マップづくり・発表、講師から講評をいただいた。 	

成 果

- ・ 講義の中で、犯罪には、犯罪者の異常な性格や置かれている環境などにより、その犯罪が起き、その原因を治すことで犯罪をなくす『犯罪原因論』と犯罪の機会をなくすことで犯罪を減らす『犯罪機会論』の2つがあり、後者の考え方が欧米では犯罪抑制に効果的であることが実証され、その考え方に基づいて作製されたものが『地域安全マップ』であることがわかり、マップの作製は「犯罪に遭わないように（遭いにくくする）する」、「犯罪機会を作らせない方法」の取り組みとして、非常に有効であることがわかった。また、実際に『まち歩き』を行い、グループごとにワークショップ形式でのマップ作製により、さらに認識が高まった。早速いくつかの地域・学校でも実践したいとの声があがった。
- ・ 今回の講習会実施にあたり、参加者はスタッフ含め30名であったが、もともと次年度地域及び学校PTAを主体としてマップ作製を促し、地域の犯罪抑制能力を高めたいとのねらいがあり、今回は指導者育成のための開催であったことから、一定の評価はできた。

課 題

- ・ 成果でも述べたように、今後地域及び学校PTAが定期的に『地域安全マップ』作製を通じ、防犯意識の向上及び危険を回避する能力を養う必要があり、継続性が求められる。
- ・ 防犯は、行政・地域・学校など非常に身近な問題であり、今以上に連携を図る必要がある。

問合せ先 田上町教育委員会 生涯学習係（担当：佐藤 正） TEL0256-57-6114